

中津市民病院化学療法レジメン

【レジメンNo】 S-G33

申請日	2024/5/21	承認日	2025/6/9	委員長	印
レジメン登録		仮承認日		承認者	印

Pemb+Tra+FP	病名	胃癌	外科	提出医	Dr
対象	Her2陽性の治癒切除不能な進行・再発胃癌の一次治療(CPS=1以上)				

薬剤商品名 (一般名)	投与量 (mg/m ² 等)	投与方法 (div. iv. po等)	投与スケジュール (日)												
			1	5	8	10	15	20	22	25	35				
キイトルーダ(ペムブロリズマブ)	200mg/body	div	○												
トラスツズマブ	初回8mg/kg、2回目以降6mg/kg	div	○												
シスプラチン	80mg/m ²	div	○												
フルオロウラシル	800mg/m ² /day	持続点滴	○	○	○	○	○								

投与間隔・休薬期間等：21日＝1コース

←

1コース

→

CDDPは6コースまで

【S-G34】 Pemb+Tra+5-FUに変更。Pembは【S-G34】より数えて35コースまで。

Traは投与予定日から1週間以内の遅れは6mg/kg、1週間を超えた場合は8mg/kgを投与する

【投与処方例（前投薬など）】

Day1～5は、体重測定を実施。

治療開始時(1日目)より1日で0.5kg増加した際は、医師に連絡。必要に応じて検査、利尿剤を追加。

腎機能の評価のためにDay1以外にDay4、8に血液検査を実施。

必要に応じてハイドレーションを追加(採血は主治医判断)

※キイトルーダ、トラスツズマブ、シスプラチン投与時は、フルオロウラシルは止め、終了後再開する。
※フルオロウラシル24時間持続点滴について・・・ポンプの流量誤差を考慮し、適宜速度を調整する
※トラスツズマブ開始前に、心エコー・心電図検査を行うこと。また、3ヶ月に1回評価を行うこと。

ボナフェック坐剤（12.5～50mg）挿肛（初回量時のみ）

Y側管【水色】 day1～5

- ① Y側管【水色】 生理食塩水液1000mL＋フルオロウラシル /div（24時間持続点滴）

メイン day1

- ① メインキープ【緑】 生理食塩液250mL /div
② メイン【赤-1】 生理食塩液100mL＋アロカリス1V＋パロノセトロン1V＋デキサート9.9mg /div 30分
③ メイン【赤-2】 生理食塩液50mL /div 5分
④ メイン【赤-3】 生理食塩液100mL＋キイトルーダ /div 30分
⑤ メイン【白】 生理食塩液250mL＋注射用水＋トラスツズマブ /div 初回90分、2回目以降30分
注射用水は150mg:7.2mL、60mg:3mLで溶解

※トラスツズマブの減量は許容されない

- ⑥ メイン【黄-1】 ソリタT1 500mL＋硫酸マグネシウム8mL（＝8mEq） /div 1時間
⑦ メイン【黄-2】 マンニトールS注射液 300mL /div 全開（15分）
⑧ メイン【黄-3】 生理食塩液500mL＋シスプラチン /div 2時間
⑨ メイン【青-1】 ラクテック500mL /div 3時間
⑩ 【コネクタ1】 プリンペラン注射液10mg /div 5分
⑪ メイン【青-2】 ラクテック500mL /div 3時間

メイン day2.3.4

- ① メインキープ【緑】 生理食塩液250mL /div
② メイン【赤-1】 生理食塩液100mL＋デキサート6.6mg＋プリンペラン10mg /div 30分

- ③ メイン【赤-2】 ラクテック500mL /div 3時間
- ④ メイン【赤-3】 ヴィーンD 500mL / div 3時間
- ⑤ 【コネクタ1】 プリンペラン注射液10mg /iv 5分
- ⑥ メイン【赤-4】 ラクテック500mL / div 3時間

メイン day5

- ① メインキープ【緑】 生理食塩液250mL /div
- ② メイン【赤】 ラクテック500mL /div 3時間
- ③ 【コネクタ1】 プリンペラン注射液10mg /iv 5分

制吐剤セット処方⑥

☐DMがない場合

Day1～4 オランザピン5mg 1錠(分1 夕食後)

☐DMがある場合はオランザピン禁忌、下記の代替薬

Day1～4 ワイパックス0.5mg 2錠(分2 朝・夕食後)

コントミン12.5mg 1錠(吃逆時) 10回分 1日3回内服可

【腎機能低下時の減量方法】

※シスプラチン

Ccr46～60mL/min : 75%Dose

Ccr31～45mL/min : 50%Dose

Ccr<30 : 禁忌

【副作用による減量基準】

※シスプラチン

好中球減少 $\geq$ G4、FN=G3、血小板減少 $\geq$ G3(10万に回復後) 1段階減量

Scr上昇 $\geq$ G2、耳毒性 $\geq$ G3、感覚性ニューロパチー $\geq$ G3はG1以下に回復後、1段階減量

初回投与量：80mg/m²

1段階減量：60mg/m²

2段階減量：40mg/m²

※フルオロウラシル(5-FU)

好中球減少 $\geq$ G4、FN=G3、血小板減少 $\geq$ G3(7.5万に回復後) 1段階減量

下痢・粘膜炎・手足症候群 $\geq$ G2はG1に回復後、1段階減量

初回投与量：800mg/m²/日

1段階減量：600mg/m²/日

2段階減量：400mg/m²/日

参考文献：KEYNOTE-811試験